

そ ものたいけん 染め物体験

身近な物みぢかを使って、オリジナルのハンカチつかを作ろう！教材には紅茶きょうざいのパックこうちゃを入れて
いるけれど、玉ねぎたまの皮かわで染めるのもおすすめ。ぜひおうちで用意よういして挑戦ちょうせんしてみてね！

おしぼりは練習れんしゅうに使うつかって、慣れてきたらハンカチで本番ほんばん！どんなもようができるかな？
鍋なべを使うつかので、火傷やけどしないように注意ちゅういして作業さぎょうしよう。

●使うもの

教材きょうざいの材料ざいりょう：ハンカチつか、おしぼりおしぼり、紅茶こうちゃパックパック、焼きミョウバンやきミョウバン、輪ゴムわ、
絵えを描かく場合は豆乳とうにゅう（豆腐とうふ作りで余あまったもの）

おうちで用意よういするもの：鍋なべ、菜ばしさい、玉ねぎたまの皮かわで染める場合は玉ねぎたまの皮かわ 4つ分ぶん

●準備しておくこと

ハンカチとおしぼりを水みずできれいに洗あらって乾かわかしておく。

よごれていたり、新品しんぴんで「のり」がついていたりすると、上手うまく染そまらないよ。

●基本の作り方

①もようをつける準備

輪ゴムわや糸いとを使って自由じゆうにハンカチをしばり、
もようをつける準備じゆんびをする。



②色水をつくる

鍋なべに水みずを1ℓ入れて、強火つよびで沸騰ふつとうさせる。沸騰ふつとうしたら弱火よわびにして、
紅茶こうちゃパックを4つ（または玉ねぎたまの皮かわを4つ分ぶん）入れる。しっかり
色いろが出るまで、10分ぶんぐらい煮る。



③ハンカチを染める

色水いろみずができたら紅茶こうちゃパック（もしくは玉ねぎたまの皮かわ）を引き上げ、
ハンカチいを入れる。ハンカチ全体ぜんたいが色水いろみずにつかるように菜ばしさいで
まぜながら、10～15分ぶん煮る。



④色止めをする（洗っても色が落ちないようにする）

別にお湯をわかし、お湯50 mlに焼きミョウバン5g（小さじ1）を溶かしておく。きれいに溶けたら、鍋の中に入れてよくまぜ、さらに5分くらい煮る。

色止めの前後で色が変わることも…！？要チェック！



⑤すすぐ

火を止めて鍋からハンカチを取り出し、水で洗う。

水に色がつかなくなるまで洗ったら、輪ゴムや糸を外して

もう一度洗い、乾かして完成！

アイロンをかけると、もっときれいになるよ。



★色々なもよう

輪ゴムの付け方によって、色々なもようができるよ！できあがりを想像しながら、色々試してみよう。下の写真のもよりの作り方は、HPにのせている動画で紹介しているよ。

参考にしてみてね。



★上段は玉ねぎの皮で、下段は紅茶パックで染めたもの

さらにチャレンジ!



★ハンカチにお絵描きしてみよう!

染める前に豆乳を使って筆や指でハンカチに絵をかき、乾かしてから染めると、絵を描いた部分だけ色が濃くなるよ。これは豆乳に含まれる「タンパク質」に反応しているため。

牛乳でもできるけれど、豆乳の方がにおいが気にならないよ。

色が濃くなりすぎる場合は、豆乳を水でうすめて使おう。

豆乳を手になめて、手形をつけるのもおすすめ!



<色の濃さの例>



① 豆乳そのまま

② 豆乳と同じ量の水でうすめたもの

③ 豆乳の3倍の量の水でうすめたもの

★もっとハンカチ全体の色を濃くしたい!

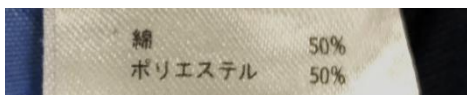
色水の色を濃くするには…? ハンカチにしっかり色をつけるには…? 豆乳を使ったところの色が濃くなるということは…?

どうしたら好きな濃さにできるかな? 自分で考えて、工夫して作ってみよう!

★ハンカチ以外も染められるの?

色水につかる大きさなら、ハンカチ以外のものでもOK! Tシャツなど、好きなもので試してみよう。汚してしまったものでも、染めたら自立たなくなるかも?

ただし、素材が化学繊維(ポリエステルなど)のものは色が落ちやすいので、染めるのに向いてないよ。綿など、自然素材のものがおすすめ!



洋服のタグには必ず素材が表示されているよ。

染める時はできるだけ綿100%のものを選ぼう。

★違う色で染めてみたい!

今回紹介した紅茶や玉ねぎの皮のほかに、色水が作れそうなものはないかな? 食べ物や植物など、色んなもので試してみよう! 上手にできたら教えてね。